

全国移動解禁で帰郷広報 自衛官候補生母校を訪問

新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）新発田地域事務所（所長 2陸尉 櫻井正智）は、6月22日（月）新発田市内の県立新発田農業高等学校及び県立西新発田高等学校において、帰郷広報として母校訪問しました。この母校訪問は、今年度自衛官候補生として入隊した卒業生2名が、新発田地域事務所長とともにそれぞれの母校を訪問し、挨拶と入隊後の近況報告を行ったものです。



新発田農業高校を訪問した儀同 聖自衛官候補生は、東京都練馬区の朝霞駐屯地に所在する女性自衛官教育隊で教育を受けており、6月19日に全国移動が解禁されたことにより帰省していました。久しぶりの母校訪問に少し緊張した様子でしたが、進路担当教諭に会うと笑顔で挨拶していました。同教諭から、入隊して得たことや訓練の様子を聞かれた儀同自衛官候補生は「営内生活は周りに気を配ることが大事という事を学びました。訓練は自分だけでなく同期皆で取り組むので、入隊前に思っていたより厳しいとは感じませんでした」と答えていました。



西新発田高校を訪問した田中 秀樹自衛官候補生は「先生から就職した生徒の中で一番厳しい職場と思い心配していたが、立派に頑張っているようで安心した、これからも頑張るようにと激励されました」と話していました。

新潟地本は、今後も長期休暇等を活用した卒業生の母校訪問を行い、その成長した姿を通して自衛隊への信頼感の向上と理解を深めていきます。